



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 リズム株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7769 URL <https://www.rhythm.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 博美  
問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 山崎 勝彦 (TEL) 048-643-7241  
四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け向け)  
(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	16,599	19.8	433	62.6	729	68.4	600	33.1
2022年3月期第2四半期	13,855	15.1	266	—	432	—	451	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,738百万円(277.4%) 2022年3月期第2四半期 725百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	72.72	—
2022年3月期第2四半期	54.65	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	41,716	29,435	70.6
2022年3月期	38,293	27,006	70.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 29,431百万円 2022年3月期 27,000百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	37.50	37.50
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	36.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	30,700	2.3	1,000	12.0	1,300	1.0	1,000	△3.1	121.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	8,385,093株	2022年3月期	8,385,093株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	127,637株	2022年3月期	127,150株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	8,257,766株	2022年3月期2Q	8,258,784株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来予測情報の適切な利用に関する説明）

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報等)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 経営成績及び財政状態の状況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

(経営成績の状況)

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日)における国内及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され経済活動正常化が見られたものの、中国経済の減速、ウクライナ情勢の緊迫化に加え、世界的な金融引き締め等を背景とした海外景気の下振れ懸念、急激な円安等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの業績は、精密部品事業の堅調な受注が全体を牽引し、好調に推移いたしました。原材料高騰の中、受注の増加や生産の効率化に加え、販売価格の一部改定が利益の改善に寄与しました。また、円安の進行は事業により隔たりはありますが、全体としては売上、利益にプラスの影響を与えました。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間の売上は165億99百万円(前期比19.8%増)、営業利益は4億33百万円(前期比62.6%増)、経常利益は7億29百万円(前期比68.4%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年計上した過年度の法人税還付という特殊要因の反動はあったものの、前年に続き繰延税金資産の計上もあり、6億円(前期比33.1%増)となりました。

以上から業績は次の通りとなりました。

(単位：百万円)

		2022年3月期 第2四半期 連結累計期間	2023年3月期 第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売 上 高	精密部品事業	10,238	12,822	2,584	25.2%
	生活用品事業	3,373	3,536	162	4.8%
	その他	243	240	△3	△1.4%
	計	13,855	16,599	2,743	19.8%
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)	精密部品事業	617	942	324	52.4%
	生活用品事業	△115	△188	△73	—
	その他	40	39	△0	△2.2%
	調整額	△276	△359	△82	—
	計	266	433	166	62.6%
	経常利益	432	729	296	68.4%
	親会社株主に帰属する四半期純利益	451	600	149	33.1%

これらをセグメント別に見てみますと次のとおりです。

#### ①精密部品事業

国内では、半導体製造装置関連などの産業機械、家電製品、太陽光発電機器向け部品の受注が引き続き好調に推移いたしました。自動車関連部品は半導体入手難による取引先各社生産調整の影響を受けましたが、EV/HV向け新規立上り部品の受注増加が生産調整による減少分をカバーしました。原材料の高騰が利益圧迫要因となっていますが、堅調な受注や一部価格改定により、国内全体では増収増益となりました。

海外では、中国ロックダウンの影響による取引先の生産調整や原材料高騰の影響を受けておりますが、インドネシア、ベトナム拠点では、前期の感染症による生産活動の制限により減少した売上・利益が回復、また、円安の進行により円貨換算額の売上・利益が増加したことから、海外全体では増収増益となりました。

これらの結果、精密部品事業全体では増収増益となりました。

#### ②生活用品事業

国内では、新型コロナウイルス感染症による行動制限は緩和されましたが、猛暑や天候不順等により店頭販売は前年より減少しました。一方、新たな販売戦略を展開したオンライン販売が好調に推移し、店頭販売減少分をカバーしました。しかしながら、原材料の高騰や円安の影響により原価が上昇し、一部販売価格の改定を行いましたが、その影響を吸収するには至らず、増収ながら営業損失となりました。

海外では、中国経済の減速により中国向け販売は減少しましたが、台湾における販売の拡大、タイ・韓国での新たな販売ルートの開拓により好調に推移、価格改定や費用の圧縮により、原材料や物流費高騰の吸収にも努めました。円安による円貨換算額の売上・利益の増加も加わり、海外全体では増収増益、黒字に転換しました。

これらの結果、生活用品事業全体では、増収・減益、営業損失となりました。

#### ③その他

その他事業におきましては、物流関係は堅調に推移しましたが、好調を維持していた消毒液等の衛生商品やアルコール検知器の販売が一服となり、全体では減収減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

(財政状態の状況)

(資産)

総資産は417億16百万円となり、前連結会計年度末382億93百万円に比べて34億22百万円増加しました。流動資産は、棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ30億96百万円増加しました。固定資産は、有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末に比べ3億26百万円増加しました。

(負債)

負債合計は122億80百万円となり、前連結会計年度末112億86百万円に比べ9億94百万円増加しました。流動負債は、1年内償還予定の社債の減少等により前連結会計年度末に比べ18億15百万円減少しました。固定負債は、社債や長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ28億10百万円増加しました。

(純資産)

純資産合計は、294億35百万円となりました。為替換算調整勘定の増加等により前連結会計年度末270億6百万円に比べ24億28百万円増加しました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,941	10,421
受取手形、売掛金及び契約資産	4,107	4,465
電子記録債権	1,785	1,812
棚卸資産	7,397	9,383
その他	838	1,085
貸倒引当金	△0	△2
流動資産合計	24,069	27,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,170	5,200
その他（純額）	4,694	5,126
有形固定資産合計	9,864	10,326
無形固定資産		
のれん	213	151
その他	245	352
無形固定資産合計	458	504
投資その他の資産		
投資有価証券	2,067	2,178
繰延税金資産	198	226
その他	1,715	1,393
貸倒引当金	△81	△78
投資その他の資産合計	3,900	3,718
固定資産合計	14,223	14,549
資産合計	38,293	41,716
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,563	4,276
短期借入金	70	—
1年内返済予定の長期借入金	435	900
未払法人税等	262	194
賞与引当金	334	341
役員賞与引当金	11	—
1年内償還予定の社債	3,000	—
その他の引当金	17	15
その他	1,484	1,634
流動負債合計	9,178	7,362
固定負債		
社債	—	1,500
長期借入金	1,074	2,714
退職給付に係る負債	523	241
その他	509	461
固定負債合計	2,107	4,918
負債合計	11,286	12,280

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,372	12,372
資本剰余金	7,584	7,584
利益剰余金	4,100	4,391
自己株式	△276	△277
株主資本合計	23,780	24,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	366	474
為替換算調整勘定	2,561	4,598
退職給付に係る調整累計額	291	286
その他の包括利益累計額合計	3,219	5,359
非支配株主持分	6	4
純資産合計	27,006	29,435
負債純資産合計	38,293	41,716

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	13,855	16,599
売上原価	10,654	13,140
売上総利益	3,200	3,458
販売費及び一般管理費	2,934	3,025
営業利益	266	433
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	49	62
受取賃貸料	154	164
為替差益	8	145
その他	53	52
営業外収益合計	267	427
営業外費用		
支払利息	15	14
賃貸費用	62	57
その他	23	59
営業外費用合計	101	131
経常利益	432	729
特別利益		
固定資産売却益	1	3
投資有価証券売却益	5	—
特別利益合計	7	3
特別損失		
固定資産処分損	3	0
固定資産売却損	3	1
特別損失合計	7	1
税金等調整前四半期純利益	432	730
法人税、住民税及び事業税	135	188
法人税等還付税額	△63	—
法人税等調整額	△81	△56
法人税等合計	△10	132
四半期純利益	443	598
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	451	600



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	443	598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	152	107
為替換算調整勘定	142	2,037
退職給付に係る調整額	△12	△4
その他の包括利益合計	282	2,140
四半期包括利益	725	2,738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	733	2,740
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	△2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	432	730
減価償却費	540	686
のれん償却額	171	100
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△15	△30
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△18	△10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	65	7
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	△11
受取利息及び受取配当金	△51	△64
支払利息	15	14
為替差損益 (△は益)	△2	△113
固定資産処分損益 (△は益)	3	0
固定資産売却損益 (△は益)	2	△1
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5	—
売上債権の増減額 (△は増加)	421	5
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,086	△1,357
仕入債務の増減額 (△は減少)	188	348
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△299	119
その他の資産の増減額 (△は増加)	5	△172
その他の負債の増減額 (△は減少)	117	0
小計	480	244
利息及び配当金の受取額	51	64
利息の支払額	△15	△12
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△19	△242
営業活動によるキャッシュ・フロー	496	55
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△555	△445
有形固定資産の売却による収入	6	7
無形固定資産の取得による支出	△6	△86
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却等による収入	6	—
貸付金の回収による収入	2	2
その他	—	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△547	△509

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△62	△70
長期借入れによる収入	—	2,500
長期借入金の返済による支出	△218	△394
社債の発行による収入	—	1,500
社債の償還による支出	—	△3,000
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△247	△309
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△14	△98
財務活動によるキャッシュ・フロー	△544	126
現金及び現金同等物に係る換算差額	61	807
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△533	479
現金及び現金同等物の期首残高	10,276	9,941
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,742	10,421

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症による影響の長期化は、BtoBの精密部品事業においては、中国ロックダウンの影響が当社の受注減につながっており、また、BtoCの生活用品事業では、販売店の店頭来客数も回復途上にあるなど、当社グループの業績に影響を及ぼしております。今後の予測は非常に困難ですが、ウィズコロナの経済活動の継続、消費活動の回復など、今年度については一定の影響は受けつつも生産活動や消費活動は徐々に平常に向かっていくものと予測されます。

その前提に基づき、現時点で考慮できる範囲でのれんを含む固定資産の減損損失や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

しかしながら、終息時期は不透明であり、新たなロックダウンの発生等、今後の経過が会計上の見積りに影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	精密部品事業	生活用品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,238	3,373	13,611	243	13,855
セグメント間の内部 売上高又は振替高	280	13	293	331	624
計	10,518	3,386	13,905	574	14,480
セグメント利益又は損 失(△)	617	△115	502	40	542

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	502
「その他」の区分の利益	40
セグメント間取引消去	10
全社費用(注)	△245
棚卸資産の調整額	△41
四半期連結損益計算書の営業利益	266

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	精密部品事業	生活用品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,822	3,536	16,359	240	16,599
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	6	17	336	353
計	12,833	3,542	16,376	576	16,952
セグメント利益又は損 失(△)	942	△188	753	39	792

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	753
「その他」の区分の利益	39
セグメント間取引消去	24
全社費用(注)	△249
棚卸資産の調整額	△134
四半期連結損益計算書の営業利益	433

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。